

川崎市社会的養育に関する アンケート調査 結果

令和3年11月

川崎市

アンケート概要について

1. アンケートの目的

川崎市社会的養育推進計画（以下、「本計画」とします）は、令和2年度から令和11年度までの10年間における、本市の社会的養育に関する施策の方向性と、要保護児童の養育体制の量の見込みと確保方策を定めるため策定しました。

令和4年には川崎市子ども・若者の未来応援プラン（以下、「応援プラン」とします）の改定にあわせ、本計画を統合する方向で検討を進めており、その関係で、令和2年度から令和3年度の2年間の第1期の計画期間として取組を進めてきています。

この度、応援プランとの統合を進め、第2期の計画期間に移行するにあたり、社会的養護を支える里親や施設及び児童の意見を伺い、適切に計画を遂行していくための参考資料とするべく、アンケートを実施いたしました。

2 調査の対象

里親・ファミリーホーム養育者及び委託児童（高校生以上）

施設職員（※）及び入所児童（高校生以上）

（※）川崎市が所管する児童養護施設4か所、乳児院2か所、児童心理治療施設1か所

	対象数	回収数	回収率
里親・ファミリーホーム・施設職員	399	321	80.5%
委託児童（高校生以上）	69	40	58.0%

3 調査の方法

郵送にて送付・郵送にて回収

4 アンケート実施時期（回答期間）

令和3年9月1日 から 令和3年9月28日まで（締め切り）

5 アンケートの帳票について

調査票の種別	対象者
調査票1	児童養護施設・児童心理治療施設職員
調査票2	乳児院職員
調査票3	里親家庭
調査票4	ファミリーホーム養育者
調査票5	児童養護施設・児童心理治療施設入所児童（高校生以上）
調査票6	里親家庭委託児童（高校生以上）
調査票7	ファミリーホーム委託児童（高校生以上）

1 里親家庭で児童を養育することについて、効果・利点と思われるものを選択してください。

(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	特定の養育者と継続的に関係構築や愛着形成が期待できること	12	16.9%	80.0%
2	食事や生活等、一般的な家庭と同様の生活習慣を送ることができること	15	21.1%	100.0%
3	児童の個性や発達に応じて家庭のルール等、柔軟に対応することができること	13	18.3%	86.7%
4	食事・生活習慣・学習等について、本人の意欲や能力に応じて自立に向けて練習・準備を行うことができること	12	16.9%	80.0%
5	児童1人1人に向き合う時間を確保できること	11	15.5%	73.3%
6	家庭で少数の児童が生活するため、安定した関係性を構築することができること	8	11.3%	53.3%
		71	100.0%	

2 上記のほか、あなたが児童への支援で里親であるからこそ可能なことや強みであると考えられることを記載してください。

(自由記載)

選択肢	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> 施設とは違い、兄弟ケースの場合に兄弟が分かれることが無く、一緒に生活できる。 兄弟ケースについて、里親宅では兄弟関係がしっかり構築できる。 自分だけに特別な愛情を注いでくれる人間がいると感じることができる。 措置解除後、大人になった後も、本人にとって帰れる場所、頼れる場所がある。必要に応じて支援もできる。 家庭というものがどんなものか知ることができる。 児童の自立に向け、折に触れて里親の経験を伝えることができる。 長期にわたって児童と実親に関われるため、過去の事実を基に、児童を深く理解することができる。 里親家庭を退所しても、相談支援者として子どもに関わることができる。 委託が終了した後も実家的なかかわりが続けられる。

3 里親家庭で児童を養育することについて、課題になりうると思われるものを選択してください。

(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	被虐待児や発達障害等、対応が困難な児童の対応に苦慮することがある	15	29.4%	100.0%
2	里親により児童の支援方針や養育方法に差が出る可能性がある	7	13.7%	46.7%
3	児童の課題が表出した際、里親が家庭内で不安や悩みを抱え込んでしまうおそれがある	11	21.6%	73.3%
4	専門職による支援が必要な際に、必要性の把握や受診時期等が遅れてしまうおそれがある	6	11.8%	40.0%
5	保護者との関係性を維持しながら親子交流や家庭復帰に向けた相談支援を行うことが難しい	5	9.8%	33.3%
6	限られた人数で養育することで、里親への負担が大きくなるおそれがある	5	9.8%	33.3%
7	限られた人数で養育することで、児童との適切な距離間を置きながら支援を行うことが難しい	2	3.9%	13.3%
		51	100.0%	

4 上記のほか、あなたが児童を支援する上で特に課題であると考えられることを記載してください。(自由記載)

選択肢	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> 児童をきちんと理解し受け止めるには里親自身が対応等についての知識や技術を持っていることが必要。 0～2歳児を養育する場合に必要な子育て情報や区役所とのつながりが無い里親がいる。地域見守り支援センター等の連携も必要。 実子や他の家族への影響。 ライフストーリーワークについて。 児童と里親間で遠慮があり、それぞれストレスに感じる場合がある。 対応の難しい児童について支援が欲しい時に、専門的に本当に役に立つ支援が手近にはない。 養育における経費の支弁が、施設入所児童と同じ支援が受けられているのか。

5 課題を抱える児童へはどのような支援を行うことが効果的であると考えますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	特定の養育者と信頼関係を構築し、児童が安心できる環境で継続的に養育を行うこと	10	20.4%	66.7%
2	養育上の負担感を過度に抱え込まずに様々な支援を受けながら課題に向き合い長期的な視点で養育を行うこと	9	18.4%	60.0%
3	各福祉制度や支援者の力を借りながら、児童が将来自分らしく生きることができるよう環境を整えること	9	18.4%	60.0%
4	他の児童との比較をせず、当該児童に合った内容の支援を行うこと	8	16.3%	53.3%
5	課題が表出した際に的確な対応をとれるよう専門職の支援を受けること	13	26.5%	86.7%

49

6 進路を選択する際に何らかの課題により希望する進路に進めないと思われることはありますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	児童の学力の不足	8	21.6%	53.3%
2	学費や自立するための経費の不足	8	21.6%	53.3%
3	児童の希望と適性の不適合	4	10.8%	26.7%
4	児童の対人能力や実務能力等の不足	7	18.9%	46.7%
5	児童が明確な希望を持っていない	7	18.9%	46.7%
6	特に課題は無い	0	0.0%	0.0%
7 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> 自立のためのサポートについての情報不足。 実親・児童親族に就労している人がなく、就労・進学イメージがでない。 児童の意欲の不足。 児童の自立に関する認識、現実感の有無の問題。 	3	8.1%	20.0%

37 100.0%

7 児童が就職先を選ぶときにはどのような観点を重視してサポートすべきと考えますか。(複数回答可)

0

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	労働条件や給与等の待遇面	8	16.3%	53.3%
2	社宅や寮などの住居の確保	6	12.2%	40.0%
3	仕事内容と児童の適性	11	22.4%	73.3%
4	事業者の児童に対する理解	11	22.4%	73.3%
5	本人が希望する業種等であること	11	22.4%	73.3%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> 継続就労のための支援があるか。 児童が興味を持っていることかどうか。 	2	4.1%	13.3%

49 100.0%

8 進路が決まらない児童は何が課題となっていて、どのように支援を行う必要があると考えますか。(自由記載)

	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> 児童自身のやる気、自己肯定感、コミュニケーション力の不足、将来のイメージが持てない等のサポート。 里親自身が様々な社会的サポートについて知らないこと。そのことが児童に多くの選択肢を示すことに繋がらず、結果的に様々な面で児童の「あきらめ」に繋がっているのではないかと。 児童が何をやりたいか聞いて、支援できる学校、職業訓練を行う。 本人の希望に沿うようにしないと長続きしませんのでとても難しい。 動機付けとしてのアルバイトを支援の一環として取り入れ、フォローアップしながら本人の方向性を引き出す。

9 委託解除後に就労や就学が継続しなかった等の課題が生じた場合、どのような支援を行うことが効果的であると考えますか。(自由記載)

回答	
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・支援機関や行政サポートにつなげる ・住居確保 ・解除までの期間を延ばすことなど、今のサポートを現実の問題に合わせるように根本的に見直す必要があると思う。 ・解除後にもこれまで関わった方々が相談相手になる ・相談によってよく話を聞き、再就職のための職探しや、別の進学など進路を考え、決まるまで息長く伴走するような支援を行う。 ・里親が一時避難所のように関わりを持てるような関係を継続していく。 ・手厚く助けてばかりいると、頑張る力がつかない。相談にのってもらえるところをつくらう用意し、自分のできることをうまく引き出し、再チャレンジできるような支援を行うのが良い。

10 「養育」里親の登録数を増やすためには、どのような取組がより必要であると思われますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	社会一般への社会的養護や「養育里親」の認知度の向上	12	27.9%	80.0%
2	地域住民への「養育里親」への理解の向上	6	14.0%	40.0%
3	学校や保育園などの各機関における「養育里親」への理解の向上	9	20.9%	60.0%
4	里親を支える相談支援体制の強化	9	20.9%	60.0%
5	措置費の水準の向上	2	4.7%	13.3%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・病院や携帯会社などの社会的機関が里親制度を全く知らず、結果として里子に適切な対応が出来ていない。 ・学校や幼稚園保育園、公的機関などで啓発活動をする。 ・ふるさと里親のみではなく、独自の里親を設定し、増やす(例：一時保護受入里親)。 	5	11.6%	33.3%

43

11 児童福祉法に家庭養育優先が明文化され、里親への児童の委託を推進するにあたり、どのような点が課題となると思われますか。(自由記載)

主な回答	
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童養護施設職員の養育里親委託推進への理解。 ・ふるさと里親制度の推進。里親登録を検討する際、児童の委託を受ける事で、生活そのものが大きく変化する事へ抵抗があると感じる。その中で、ふるさと里親等は、社会的養護の児童を預かる機会にもなり、長期委託を考える機会や社会的な啓発につながっていくのではないかと。 ・里親になることでこれまでの家庭生活がどうなってしまうのか不安がある。 ・委託数を増やせばいいというのではなく、その児童の将来のビジョンを支援するような関わり、家庭復帰プログラム構築。 ・里親の役を担う人への心によりそう支援

12 里親が地域で安心して児童を養育する上では、地域や施設をはじめとする各機関からはどのような支援を受けることが効果的であると考えますか。(自由記載)

主な回答	
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間365日困ったときに相談できる窓口。 ・病院等への里親制度の周知活動。 ・困りごとが出た時点ですぐに対応してもらえる安心感が必要。 ・サロン・会議その他で場所を貸してもらえること。 ・施設との見学・懇談・交流会・講演などを行い、施設ではこういう場合はこんな対処法で取り組んでいるなど(里親と共通する課題も多いので)聞けると参考になる。 ・養育援助事業の制限時間を拡大等、もっと子育て支援サービスを利用できるようになると、里親のみで抱え込まず、ゆとりをもって養育することができ、サービス提供側にも里親制度を知ってもらうことができる。里親を増やすことにも効果的と考える。 ・保育園、預かり保育、学童保育などを利用しやすくする。 ・レスパイト先の確保。 ・支援に力を入れると、アドバイスや指導などをされることが増え、生活そのものが窮屈になるのではないかと。

13 里親を続ける上でどのようなことにやりがいを感じますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	児童の養育に携わることで社会的な貢献をできること	7	20.6%	46.7%
2	児童の成長を支え見守ることができる役割であること	11	32.4%	73.3%
3	自分の能力や専門性を活かせる役割であること	2	5.9%	13.3%
4	支え合える家族や関係者とともに養育ができること	5	14.7%	33.3%
5	学校や地域、各支援者など様々な人と関わる機会があり学び続けることができること	6	17.6%	40.0%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間として大きな学びの機会となる。 ・児童が持っている夢や希望を実現してもらいたい。(保護者(親)がいない、お金がないことを理由にして、諦めないでほしい。) ・里子から感謝の言葉をもらったとき。 ・里子と心が通じ合ったと感じられるとき。 	3	8.8%	20.0%
		34	100.0%	

14 里親を続ける上で課題となる点やつらいと感じることはどのようなことですか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	養育や就労等による心身の負担	8	21.1%	53.3%
2	様々な課題を抱える児童への支援の困難さ	11	28.9%	73.3%
3	悩みなどを他者と相談することが難しい等の精神的な負担	9	23.7%	60.0%
4	児童数に対して養育者が限られることによる負担	1	2.6%	6.7%
5	児童との関係性	4	10.5%	26.7%
6	近隣の方などとの人間関係	1	2.6%	6.7%
7	措置費等の金銭面	0	0.0%	0.0%
8 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・里親は全般に、一般家庭の実親さんに比べて、高齢と聞いている。実子の養育を経験していても、高齢になった後に同じことをするのは大変なことだと感じる。 ・子どもが里子であることを公表したがる場合、周囲との関係が難しい。 ・選択肢全てあてはまると思うが、これらの問題は里親・里子により異なる問題であるので、一律にはいえない。それぞれが自分のやり方を見つけ出していくしかないと思う。 	4	10.5%	26.7%
		38	100.0%	

15 里親を継続するためにはどのような環境が必要と考えますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	気軽に相談できる支援環境	8	20.5%	53.3%
2	レスパイト等の支援体制の充実	6	15.4%	40.0%
3	支援方針や問題への対応について関係機関と連携できる体制整備	9	23.1%	60.0%
4	全国的な認知度の向上	5	12.8%	33.3%
5	地域社会における里親への理解度の向上	5	12.8%	33.3%
6	措置費水準の向上	1	2.6%	6.7%
7 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療、教育、福祉等の専門職の里親制度理解。 ・心身の負担の軽減にレスパイト等の支援体制の充実が必要不可欠(高齢化による負担の軽減)。 ・社会的に里親制度を根付かせていくための大きな指針が必要。 ・「つらい」と感じたその時点で、適切な対応をしてもらえるかどうか。 ・実親家庭に復帰させることを目標にするのではなく、子どもの利益、幸福を目標にすれば里親は楽にのびのびと子どもに関わっていきやすい。 ・里親の考えや意見を尊重した養育体制 	5	12.8%	33.3%
		39	100.0%	

1 施設で児童を養育することについて、効果・利点と思われるものを選択してください。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	様々なケース事例の蓄積に基づき、対応が困難な児童や家庭の支援を行うことができる	201	16.0%	81.7%
2	複数の大人が関わり、様々な視点から児童に合った支援を計画的に実施できる	223	17.7%	90.7%
3	児童の課題が表出した際に対応を抱え込まずに組織的に対応することができる	190	15.1%	77.2%
4	心理療法担当職員等の専門職が日常的に関わることができ、課題等に迅速に対応することができる	174	13.8%	70.7%
5	保護者との関係性を維持しながら親子交流や家庭復帰に向けた相談支援を行うことができる	160	12.7%	65.0%
6	職員が交代で勤務することで、課題や負担を分担しながら対応することができる	161	12.8%	65.4%
7	複数の児童指導員が児童と適切な距離を置きながら専門的な支援を行うことができる	151	12.0%	61.4%
		1260	100.0%	

2 上記のほか、あなたが児童への支援で施設であるからこそ可能なことや強みであると考えることを記載してください。(自由記載)

選択肢	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士が、互いに支え合う存在になりうる。 ・1人の子どもにたくさん大人の関わるができる。 ・様々な職員の目で子どもたちの生活を通してアセスメントすることができ、支援の幅を広げていくことができる。 ・行ってきた養育を評価し、積み重ねていく事ができる。 ・児童の要望に対応できる大人の人数が多い。 ・多様な人間同士の関わりを当たり前のこととして捉えられる(国籍や障害)環境を子どもたちに提供できる。

3 施設で児童を養育することについて、課題になりうるとと思われるものを選択してください。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	複数の職員が交代で勤務するため、家庭環境での特定の養育者との生活とは異なる形態となる	179	15.9%	72.8%
2	スケジュールや計画に基づいて食事や生活リズムを組み立てるため、一般的な家庭生活と異なる面がある	122	10.8%	49.6%
3	ルールをある程度統一する必要があるが、児童の個性や発達に応じて対応を変えることが難しいことがある	152	13.5%	61.8%
4	食事・生活習慣・学習等、生活の全てを施設がサポートしているため、自立後の生活とのギャップが大きい	156	13.8%	63.4%
5	支援対象の児童が多く、職員1人が児童1人に向き合う時間に限界がある	151	13.4%	61.4%
6	様々な課題を抱える児童が1つの場所で生活するため児童間の関係構築の困難さや事故等のおそれがある	167	14.8%	67.9%
7	職員の退職や人事異動により、特定の養育者による継続的な支援が難しいことがある	201	17.8%	81.7%
		1128	100.0%	

4 上記のほか、あなたが施設で児童を支援する上で特に課題であると考えることを記載してください。(自由記載)

選択肢	回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・他の子どもの影響を受けやすく流されてしまう。 ・家庭に比べ、お金の感覚をつかみにくい。 ・職員の退職やユニット移動(職員・子どもの)により、子どもが喪失体験を繰り返すことになっている。 ・退所後の支援に限界がある。 ・職員一人一人のスキルが必要になり、スキルアップに時間がかかる。 ・気づかないうちに施設独自の考え方になってしまい、それに気づきにくいこと。

5 課題を抱える児童に対して、はどのような支援を行うことが効果的であると考えますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	特定の養育者と信頼関係を構築し、児童が安心できる環境で継続的に養育を行うこと	173	18.8%	70.3%
2	養育上の負担感を過度に抱え込まずに様々な支援を受けながら課題に向き合い長期的な視点で養育を行うこと	189	20.6%	76.8%
3	各福祉制度や支援者の力を借りながら、児童が将来自分らしく生きることができるよう環境を整えること	192	20.9%	78.0%
4	他の児童との比較をせず、当該児童に合った内容の支援を行うこと	184	20.0%	74.8%
5	課題が表出した際に的確な対応をとれるよう専門職の支援を受けること	181	19.7%	73.6%
		919	100.0%	

6 上記のほか、あなたが施設で課題を抱える児童に対する支援として効果的と考えることを記載してください。(自由記載)

主な回答	
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに対してもありがたい声掛けが大切。 ・職員と1対1の個別の時間を作り、安心した生活を作る。 ・職員間でも共有して、どの対応が効果的で良いのかを話し合う。 ・できるだけ一般的な家庭のような環境を施設内で整える。また、小規模グループホームや里親委託など、より家庭に近い環境に措置変更を積極的に行う。 ・アフターフォローを大切にすること。そして退所後の姿を考えながら、インケアを行う。常に自立を見据えて、いま何を伝え何をやるべきか整理をしていく。 ・特性をもった児童に対し、ある程度のところで職員が歩み寄り気持ちの余裕が必要であると感している。 ・他人を頼ることができるように、ささいなことでも相談してもらって、それに応えていくこと。

7 施設内ユニットや地域での小規模ホーム等、家庭的な環境で児童を養育することにはどのような効果・利点があると考えますか。
(複数回答可)

選択肢		回答数	比率	回答者比率
1	設備・環境面で一般家庭に近い環境で養育することができる	174	21.1%	70.7%
2	担当職員が大舎制よりも近い距離で関係構築しながら支援を行うことができる	176	21.4%	71.5%
3	担当職員、ユニットリーダー、ホーム長、統括指導員等が児童の状況により対応を検討しながら組織的に支援が行うことができる	146	17.7%	59.3%
4	複数の職員が関わることで養育者側の負担を軽減しながら効果的な支援を行うことができる	131	15.9%	53.3%
5	ユニット・ホームなど生活単位ごとに生活習慣やルール等を組み立てるなど少人数で家庭的な生活を行うことができる	180	21.9%	73.2%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と自然なお付き合いがしやすい。 ・生活基盤、土俵が小さければ小さいほど、距離や雰囲気にも影響されやすい(こどもも大人も)。 ・大舎制に比べてルールが少ない、そのユニット・ホームに合ったルールを作り、生活しやすい環境にできる。 ・個々の子どもたちに合わせた対応がしやすい。 	16	1.9%	6.5%
		823	100.0%	

8 施設内ユニットや地域での小規模ホーム等、家庭的な環境で児童を養育することにはどのような課題・留意点があると考えますか。(複数回答可)

選択肢		回答数	比率	回答者比率
1	地域やユニットの独立性が高まり、生活状況や課題等が施設全体として見えづらくなる。	139	25.1%	56.5%
2	職員と児童の距離感が近くなり、職員の負担が重くなる。	122	22.1%	49.6%
3	担当職員、ユニットリーダー、ホーム長、統括指導員等が児童の状況により対応を検討しながら組織的に支援が行うことが難しくなる。	58	10.5%	23.6%
4	一定程度、ユニット・ホームで課題等に対応する必要があり、専門性の高い職員が必要となる	135	24.4%	54.9%
5	ユニットなど生活単位ごとに生活習慣やルール等を組み立てることから、施設全体としての支援方針に基づく対応が困難になる。	86	15.6%	35.0%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の連携は施設の大きさに関わらず必須。 ・意見の統一が難しい場合がある。 ・担当職員以外の目が届きづらいことで、職員として相応しくないかかわりがあった際に発覚できなかったり、対応が遅くなる可能性がある。 ・小規模ホームにおいては、基本、対応職員が一人であるということ。 ・関係不和があったとき、煮詰まりやすい。 	13	2.4%	5.3%
		553	100.0%	

9 進路を選択する際に、何らかの課題により児童が希望する進路に進めないことはありますか。(複数回答可)

選択肢		回答数	比率	回答者比率
1	児童の学力の不足	167	22.9%	67.9%
2	学費や自立するための経費の不足	105	14.4%	42.7%
3	児童の希望と適性の不適合	139	19.1%	56.5%
4	児童の対人能力や実務能力等の不足	137	18.8%	55.7%
5	児童が明確な希望を持っていない	155	21.3%	63.0%
6	特に課題は無い	15	2.1%	6.1%
7 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・バックボーン(安心感)のない中で選択を迫られる。 ・自立に対しての知識の少なさ。見通しを持つことができない子が多いので、小さいうちから職業体験や人暮らし体験が必要 	10	1.4%	4.1%
		728	100.0%	

10 児童が就職先を選ぶときにはどのような観点を重視してサポートしますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	労働条件や給与等の待遇面	135	16.4%	54.9%
2	社宅や寮などの住居の確保	135	16.4%	54.9%
3	仕事内容と児童の適性	203	24.7%	82.5%
4	事業者の児童に対する理解	170	20.7%	69.1%
5	本人が希望する業種等であること	171	20.8%	69.5%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が就職する職場の、施設に対する理解が深まるように何度も説明や挨拶を行っている。 ・長くその職場で続けていけるかどうか。 ・本人が希望する職種と周りから見たその子の能力に身体的にも能力的にもギャップがある場合もあるので、ある程度は本人の意見に修正案を提示しなければいけないと思われる。 	8	1.0%	3.3%
		822	100.0%	

11 進路が決まらない児童は何が課題となっていて、どのように支援を行っていますか。(自由記載)

(1)課題

	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの偏りがある(保育士等が身近にいる)ため、適性を見ながらあらゆる選択肢を考慮するようにしている。 ・児童自身で進路を決めていく。この決定することそのものが苦手な児童が多い。 ・高校3年や20歳という若年で進路を迫られる中、バックボーンがなく、将来に不安感のある状態で決めなくてはならない。

(2)支援方法

	主な回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生の段階から、社会経験を重ねて、意識を高める。 ・児童と一緒に自立後の生活をイメージ(シミュレーション)すること。 ・失敗してもよいので、まず本人の希望でやってみることを支援する。 ・自立支援の事業と連携すること。

12 施設で業務を行う上でどのようなことにやりがいを感じますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	児童の養育に携わることで社会的な貢献をできること	80	14.2%	32.5%
2	様々な児童の成長を支え見守ることができる仕事であること	215	38.1%	87.4%
3	自分の能力や専門性を活かせる仕事であること	73	12.9%	29.7%
4	同じ目的意識を持った職員とともに仕事ができること	87	15.4%	35.4%
5	学校や地域、各支援者など様々な人と関わる機会があり学び続けることができること	98	17.3%	39.8%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童とともに自身も成長できること。 ・自分が取り組んだことによって、児童がうれしい、楽しい、幸せ、と感じてくれること。 ・同じ目線や向上心を持っている人と一緒に働けると嬉しい。達成感が多い。 	12	2.1%	4.9%
		565	100.0%	

13 施設で業務を行う上で課題となる点やつらいと感じることはどのようなことですか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	夜勤や宿直勤務による心身の負担	93	14.4%	37.8%
2	様々な課題を抱える児童への支援の困難さ	153	23.7%	62.2%
3	悩みなどを他者に相談することが難しい等の精神的な負担	58	9.0%	23.6%
4	業務量に対して職員数が少ないことによる負担感	63	9.8%	25.6%
5	児童との関係性	68	10.5%	27.6%
6	職場の人間関係	66	10.2%	26.8%
7	労働条件や給与等の待遇面	128	19.8%	52.0%
8 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者対応に苦慮することもある。 ・他業種の方に養育の大変さを理解してもらおうことの難しさが連携の上で難しい。 	16	2.5%	6.5%
		645	100.0%	

14 施設職員が長期的に就労を継続するためにはどのような環境が必要と考えますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	夜勤や宿直勤務回数の減	52	7.4%	21.1%
2	支援上の課題について気軽に相談できる職場環境	112	16.0%	45.5%
3	支援方針や問題への対応について組織的に対応できる体制整備	112	16.0%	45.5%
4	職員体制の充実	120	17.2%	48.8%
5	育児休暇等を取得後も日勤で復帰できる勤務体制	80	11.4%	32.5%
6	労働条件や給与等の待遇面の向上	171	24.5%	69.5%
7	他の施設や関係機関との協力や交流	40	5.7%	16.3%
8 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して同じ職員が児童に関わっていくこと。 ・宿直ではなく夜勤が良い。 ・女性が出産後も仕事が続けられる環境を真剣に考えなければ、専門的知識と経験をもつ職員が育たない。より難しい児童の措置が想定されるが、現状の労働環境では、対応できる経験を積むほどの年数は続けられない。 	12	1.7%	4.9%
		699	100.0%	

1 施設で児童を養育することについて、効果・利点と思われるものを選択してください。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	様々なケース事例の蓄積に基づき、対応が困難な児童や家庭の支援を行うことができる	50	17.4%	83.3%
2	複数の大人が関わり、様々な視点から児童に合った支援を計画的に実施できる	51	17.7%	85.0%
3	児童の課題が表出した際に対応を抱え込まずに組織的に対応することができる	45	15.6%	75.0%
4	心理療法担当職員等の専門職が日常的に関わることができ、課題等に迅速に対応することができる	37	12.8%	61.7%
5	保護者との関係性を維持しながら親子交流や家庭復帰に向けた相談支援を行うことができる	49	17.0%	81.7%
6	職員が交代で勤務することで、課題や負担を分担しながら対応することができる	34	11.8%	56.7%
7	複数の児童指導員が児童と適切な距離を置きながら専門的な支援を行うことができる	22	7.6%	36.7%
		288	100.0%	

2 上記のほか、あなたが児童への支援で施設であるからこそ可能なことや強みであると思われることを記載してください。(自由記載)

選択肢	回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職が各々の専門性から児童へ関わるができる。 ・ケアニーズの高い児童をチーム養育する事ができる。 ・様々な玩具や物品を気軽に試して合うものを見つけられるというのは一つの良さだと感じる。

3 施設で児童を養育することについて、課題になりうるとと思われるものを選択してください。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	複数の職員が交代で勤務するため、家庭環境での特定の養育者との生活とは異なる形態となる	58	19.7%	96.7%
2	スケジュールや計画に基づいて食事や生活リズムを組み立てるため、一般的な家庭生活と異なる面がある	51	17.3%	85.0%
3	ルールをある程度統一する必要がある、児童の個性や発達に応じて対応を変えることが難しいことがある	36	12.2%	60.0%
4	食事・生活習慣・学習等、生活の全てを施設がサポートしているため、自立後の生活とのギャップが大きい	31	10.5%	51.7%
5	支援対象の児童が多く、職員1人が児童1人に向き合う時間に限界がある	45	15.3%	75.0%
6	様々な課題を抱える児童が1つの場所で生活するため児童間の関係構築の難しさや事故等のおそれがある	27	9.2%	45.0%
7	職員の退職や人事異動により、特定の養育者による継続的な支援が難しいことがある	47	15.9%	78.3%
		295	100.0%	

4 上記のほか、あなたが施設で児童を支援する上で特に課題であると思われることを記載してください。(自由記載)

選択肢	回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・個々を重視している反面、部屋での生活の流れに沿った子供のスムーズな生活に乗せている面がある。子どもにとってスムーズに見える面と職員がコントロールしている面の半々。乳幼児なりに日課はもう少し自由でもよいのかもしれない。 ・愛着関係を築いても、措置変更によって、その職員と分離しなくてはならない。

5 課題を抱える児童に対して、はどのような支援を行うことが効果的であると考えますか。(児童により対応が異なる場合は、効果的と思われる支援内容の全てに○をしてください。)(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	特定の養育者と信頼関係を構築し、児童が安心できる環境で継続的に養育を行うこと	54	23.3%	90.0%
2	養育上の負担感を過度に抱え込まずに様々な支援を受けながら課題に向き合い長期的な視点で養育を行うこと	41	17.7%	68.3%
3	各福祉制度や支援者の力を借りながら、児童が将来自分らしく生きることができるよう環境を整えること	40	17.2%	66.7%
4	他の児童との比較をせず、当該児童に合った内容の支援を行うこと	51	22.0%	85.0%
5	課題が表出した際に的確な対応をとれるよう専門職の支援を受けること	46	19.8%	76.7%
		232	100.0%	

6 上記のほか、あなたが施設で課題を抱える児童に対する支援として効果的と考えることを記載してください。(自由記載)

	回答
その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間のコミュニケーションを心掛け、様々な課題を皆で共有し合うこと。 ・多職種が連携して養育、支援していくことが効果的。 ・養育者の対応をある程度統一すること。 ・常に「大丈夫」であることを伝え、寄り添い続けること。

7 施設内ユニットや地域での小規模ホーム等、家庭的な環境で児童を養育することにはどのような効果・利点があると考えますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	設備・環境面で一般家庭に近い環境で養育することができる	35	17.7%	58.3%
2	担当職員が大舎制よりも近い距離で関係構築しながら支援を行うことができる	43	21.7%	71.7%
3	担当職員、ユニットリーダー、ホーム長、統括指導員等が児童の状況により対応を検討しながら組織的に支援を行うことができる	36	18.2%	60.0%
4	複数の職員が関わることで養育者側の負担を軽減しながら効果的な支援を行うことができる	31	15.7%	51.7%
5	ユニット・ホームなど生活単位ごとに生活習慣やルール等を組み立てるなど少人数で家庭的な生活を行うことができる	45	22.7%	75.0%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を行いやすい。 ・月齢に合った遊び、ケアができる。 ・ユニット内で統一した養育ができる。 ・関わる大人がある程度限定されることで、子どもも安心し、職員も情報共有しやすくなる。 	8	4.0%	13.3%
		198	100.0%	

8 施設内ユニットや地域での小規模ホーム等、家庭的な環境で児童を養育することにはどのような課題・留意点があると考えますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	地域やユニットの独立性が高まり、生活状況や課題等が施設全体として見えづらくなる。	30	23.3%	50.0%
2	職員と児童の距離感が近くなり、職員の負担が重くなる。	21	16.3%	35.0%
3	担当職員、ユニットリーダー、ホーム長、統括指導員等が児童の状況により対応を検討しながら組織的に支援を行うことが難しくなる。	14	10.9%	23.3%
4	一定程度、ユニット・ホームで課題等に対応する必要があり、専門性の高い職員が必要となる	43	33.3%	71.7%
5	ユニットなど生活単位ごとに生活習慣やルール等を組み立てることから、施設全体としての支援方針に基づく対応が困難になる。	18	14.0%	30.0%
6 その他 (自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児ユニットは刺激が少ない。穏やかに過ごせるが、小規模であるからこそ意識しなければならない。 ・1人1人の職員のスキルが求められる。 	3	2.3%	5.0%
		129	100.0%	

9 休日又は夜間に医療機関への受診や連絡、児童相談所との調整等を必要とすることはありますか。

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	ほとんどない	29	54.7%	48.3%
2	ある程度ある(月数回程度)	22	41.5%	36.7%
3	頻繁にある(週一回程度)	2	3.8%	3.3%
4	日常的にある(週2回程度以上)	0	0.0%	0.0%
		53	100.0%	

10 前問の対応にあたり、施設ではどのようなことが負担となっていますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	所定の労働時間に加えて勤務が必要となり、予定外の時間外勤務や休日出勤が発生する	35	39.3%	58.3%
2	児童の病状の把握や医療機関との調整を担える職員が不足している	21	23.6%	35.0%
3	緊急時における医療機関や保護者等への連絡手段の確保に苦慮する	15	16.9%	25.0%
4	該当児童の状況を知る特定の職員による対応が必要であり、病虚弱児担当職員の負担が大きい	16	18.0%	26.7%
5 その他 (自由記載)	・夜間の対応に苦慮している。 ・ファミリーソーシャルワーカー、心理等専門職の数が少ない。	2	2.2%	3.3%
		89	100.0%	

11 施設で業務を行う上でどのようなことにやりがいを感じますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	児童の養育に携わることで社会的な貢献をできること	30	21.1%	50.0%
2	様々な児童の成長を支え見守ることができる仕事であること	56	39.4%	93.3%
3	自分の能力や専門性を活かせる仕事であること	19	13.4%	31.7%
4	同じ目的意識を持った職員とともに仕事ができること	24	16.9%	40.0%
5	学校や地域、各支援者など様々な人と関わる機会があり学び続けることができること	9	6.3%	15.0%
6 その他 (自由記載)	・子どもたちの幸せのために働けることにやりがいを感じる。 ・子ども達の未来を支えることに使命感を持って取り組める。	4	2.8%	6.7%
		142	100.0%	

12 施設で業務を行う上で課題となる点やつらいと感じることはどのようなことですか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	夜勤や宿直勤務による心身の負担	27	15.5%	45.0%
2	様々な課題を抱える児童への支援の困難さ	26	14.9%	43.3%
3	悩みなどを他者に相談することが難しい等の精神的な負担	17	9.8%	28.3%
4	業務量に対して職員数が少ないことによる負担感	33	19.0%	55.0%
5	児童との関係性	7	4.0%	11.7%
6	職場の人間関係	17	9.8%	28.3%
7	労働条件や給与等の待遇面	40	23.0%	66.7%
8 その他 (自由記載)	・育児と仕事の両立。 ・保育士としてはスキルアップしないと業務が難しく、精神的負担も多い。	7	4.0%	11.7%
		174	100.0%	

13 施設職員が長期的に就労を継続するためにはどのような環境が必要と考えますか。(複数回答可・3つまで)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	夜勤や宿直勤務回数の減	18	9.1%	30.0%
2	支援上の課題について気軽に相談できる職場環境	23	11.6%	38.3%
3	支援方針や問題への対応について組織的に対応できる体制整備	22	11.1%	36.7%
4	職員体制の充実	47	23.7%	78.3%
5	育児休暇等を取得後も日勤で復帰できる勤務体制	27	13.6%	45.0%
6	労働条件や給与等の待遇面の向上	44	22.2%	73.3%
7	他の施設や関係機関との協力や交流	8	4.0%	13.3%
8 その他 (自由記載)	・職員の増員(夜勤の軽減や子育て中の職員をサポートするため)。 ・夜勤手当の向上、一人暮らしの家賃補助の充実、子育てをしながらも続けられる仕事内容作り。	9	4.5%	15.0%
		198	100.0%	

1 進路を選ぶことについてどう感じていますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	進学先や就職先は決まっている	1	12.5%	14.3%
2	自分がやりたいこと、得意とすること、苦手なことなどを考えた上で進路の方向性を考えられている	4	50.0%	57.1%
3	どのような業界や仕事があるのか分からない	0	0.0%	0.0%
4	関心がある仕事はあるが、自分にできるのか、どうすればなれるのか分からない	2	25.0%	28.6%
5	選択肢が多すぎて、何を選択すればよいのか分からない	0	0.0%	0.0%
6	やりたいことや、自分ができることについて明確なイメージを持ってない	1	12.5%	14.3%
7	現在生活することに一生懸命で、将来のことは考えられない	0	0.0%	0.0%
		8	100.0%	

2 就職・進学どちらを希望していますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	進学(大学)	2	22.2%	28.6%
2	進学(短期大学)	1	11.1%	14.3%
3	進学(高等専門学校)	0	0.0%	0.0%
4	進学(専修学校)	2	22.2%	28.6%
5	進学(その他)	0	0.0%	0.0%
6	進学(未定)	1	11.1%	14.3%
7	就職希望	3	33.3%	42.9%

※既に進学、就職をしている方は、当てはまる進路について○印をお願いします。

9 100.0%

3 里親家庭を出た後に、どのような支援があると安心できると思いますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	生活していて分からないことや困った時に気軽に相談できることがあること	5	31.3%	71.4%
2	人間関係や仕事上のトラブルなどがあつた時に相談できることがあること	3	18.8%	42.9%
3	学費や生活費の給付や貸付等の制度について相談できることがあること	4	25.0%	57.1%
4	不安になった時に、友達と相談できること	1	6.3%	14.3%
5	「養育里親」に引き続き相談ができること	3	18.8%	42.9%
6	その他(自由記載)	0	0.0%	0.0%

16 100.0%

4 自分達への支援として、どのような支援があると有効であると感じますか。(里親家庭で生活しているとき、里親家庭を出た後のどちらのことで構いません)(自由記載)

主な回答	
(自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間電話等で相談ができる場。 ・自分たちが使える支援を、きちんと説明して提案してほしい。

施設入所児童:アンケート結果

1 進路を選ぶことについてどう感じていますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	進学先や就職先は決まっている	9	14.8%	27.3%
2	自分がやりたいこと、得意とすること、苦手なことなどを考えた上で進路の方向性を考えられている	21	34.4%	63.6%
3	どのような業界や仕事があるのか分からない	8	13.1%	24.2%
4	関心がある仕事はあるが、自分にできるのか、どうすればなれるのか分からない	11	18.0%	33.3%
5	選択肢が多すぎて、何を選択すればよいのか分からない	2	3.3%	6.1%
6	やりたいことや、自分ができることについて明確なイメージを持ってない	7	11.5%	21.2%
7	現在生活することに一生懸命で、将来のことは考えられない	3	4.9%	9.1%
		61	100.0%	

2 就職・進学どちらを希望していますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	進学(大学)	14	45.2%	42.4%
2	進学(短期大学)	1	3.2%	3.0%
3	進学(高等専門学校)	2	6.5%	6.1%
4	進学(専修学校)	2	6.5%	6.1%
5	進学(その他)	1	3.2%	3.0%
6	進学(未定)	3	9.7%	9.1%
7	就職希望	8	25.8%	24.2%

※既に進学、就職をしている方は、当てはまる進路について○印をお願いします。

31 100.0%

3 施設を出た後に、どのような支援があると安心できると思いますか。(複数回答可)

	選択肢	回答数	比率	回答者比率
1	生活していて分からないことや困った時に気軽に相談できる場所があること	20	23.8%	60.6%
2	人間関係や仕事上のトラブルなどがあつた時に相談できる場所があること	17	20.2%	51.5%
3	学費や生活費の給付や貸付等の制度について相談できる場所があること	19	22.6%	57.6%
4	不安になった時に、友達と相談できること	13	15.5%	39.4%
5	「施設の職員」に引き続き相談ができること	13	15.5%	39.4%
6 その他 (自由記載)	・あまり関与してほしくないと思っている。	2	2.4%	6.1%
		84	100.0%	

4 自分達への支援として、どのような支援があると有効であると感じますか。(施設で生活しているとき、施設を出た後のどちらのことで構いません)(自由記載)

	回答
(自由記載)	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしをする児童にも準備やそれを学ぶための準備期間、そしてその知識をしっかりと身に付けられる方法があると良い。 ・施設を出たあとに、不安になったり、お金や経済で困つたことがあつたら気軽に相談できるようになれば良い。 ・金銭面での援助があるとよい。

アンケート結果・まとめ

●里親・ファミリーホーム養育者からの御意見

<家庭での支援全般について>

●家庭であり、いつも変わらない（里）父母の下での養育のため、関係構築や愛着形成に寄与できる一方、被虐待児への対応、実子との関係性への配慮、真実告知のような里親家庭独特の課題もあり、苦慮する場面も多数ある。（問1～問5）

<子どもの自立に向けた支援について>

●学力や経費面の充実のほか、現実感の認識など将来のイメージが持ちにくい状況があることから、自立に向けた意欲の醸成が課題となっている。サポートの手段の周知や早い段階からの就労体験等準備が必要。（問6～9）

<里親・ファミリーホームの活動について>

●里親制度の周知を進めるほか、支援体制の充実を求める声が多くあった。（問10）

●子どもの成長を見守り、支援し続けられること等によるやりがい認められる一方、対応困難な場面や、日常の悩み等について相談ができる体制が必要。（問11～15）

●施設職員からの御意見

<施設での養育全般について>

●専門職を含めた多くの職員が子どもに関わることができ、支援の幅が広がることや、養育の蓄積がなされていく点がメリットとして挙げられているが、家庭との違い、職員の退職による子どもの喪失体験など課題も見られる。（問1～問6）

<施設の小規模化と地域分散化について>

●小規模施設など、より家庭に近い環境は、地域との自然な関係性や柔軟なルール設定など子どもにとっても働く職員にとっても良い環境である反面、毎日の調理や勤務ローテーションによっては一人で複数の子どもの対応を行うなど、スキルの多様さと孤立化に関する課題が見られる。（問7～問8）

<子どもの自立に向けた支援について>

●社会的経験の不足等を補うため、高校に進学した時など早い段階から、自立支援事業を活用したり、就労先に施設の事を丁寧に説明し、雇用が安定して継続するよう事前の準備が大切となっている。（問9～問11）

<施設職員としての働き方など>

●子どもと共に成長しそれを見守り支えることができることで充実した働き方が垣間見える一方、夜勤や宿直を伴う勤務体系や待遇面の改善、虐待や発達面に関する課題への対応など、苦慮する場面も多いものと見受けられる。（問12～14）

●子どもからの御意見

●自分の進路などを決めるにあたり、どうすればその進路を実現できるのか、どのような選択肢があるのか分からない、具体的なイメージを持つことができていないといった声が一定数存在していることが確認できた。

●施設等を出た後の生活を不安視する子どももあり、自立に向けた準備期間を設けるなどの対応や、サポートできる体制を求める意見があった。

●アンケートの結果まとめ

●里親登録数の増加や、委託推進を図るためには、制度の周知のほか、子どもが委託になった後の支援体制の周知と内容の充実させていく必要があり、フォスティング機関による幅広い支援やピアサポート事業の確実な定着が求められる。

●施設における養育環境の変化がもたらすメリットとデメリットを把握しながら、子どもにとってよりよい家庭的環境の提供を図るため、小規模化及び地域分散化の取組を継続するほか、職員の確保、処遇改善など働く環境面の改善も引き続き的確に進めていく。

●子どもの社会的自立においては、できる限り早い段階からの支援が求められていること、子ども一人ひとりの希望や個性を尊重し、最適な進路の選択肢が提供できるよう、社会的養育自立支援事業や学習支援事業などの更なる活用を推進する。